

2 他都市の状況

(1) 本会議録の録音反訳導入都市（政令指定都市8市）の状況

- | | | |
|----------------|---|------|
| ①停電時・機器不具合時の対策 | } | 【表1】 |
| ②議場騒然時の対策 | | |
| ③証拠性の担保の方法 | | |
| ④反訳業務従事者 | } | 【表2】 |
| ⑤会議録作成日数 | | |
| ⑥会議録作成予算（23年度） | | |

【表1】

項目	録音反訳導入都市の主な回答
①停電時・機器不具合時の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・録音のほか、ビデオカメラによる録画やインターネット放映など複数系統の記録媒体を用いている。 ・システムに無停電電源装置やバックアップ機能を備えている。 ・電池、バッテリー式の機械で録音している。
②議場騒然時の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の場所に高性能な集音マイクを設置している。
③証拠性の担保の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・機械による記録をそのまま証拠として考えている。 ・複数の媒体で録音し、疑義があればそれぞれ確認しながら作成している。 ・記録媒体は事務局において適切に保管している。

【表2】

	千葉	静岡	浜松	堺	神戸	岡山	広島	北九州
④反訳業務	すべて外部委託							
⑤作成日数 (およそ)	90	90	60	60	70	80	120	60
⑥作成予算 (千円)	5,362	2,049	2,481	6,351 (*)	1,512	6,098	8,470	2,638

*堺市議会は委員会記録を含む。

(2) 常任委員会記録にも速記反訳を導入している都市

横浜市、相模原市

*そのほか、横浜市ではすべての委員会において、川崎市では予算・決算審査特別委員会において速記反訳を導入している。